

結果の要約

1 職業

佐賀県の15歳以上就業者数(423,379人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が119,502人(15歳以上就業者数の28.2%)と最も多く、次いで「事務従事者」が70,784人(同16.7%)、「専門的・技術的職業従事者」が56,586人(同13.4%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,557人(14.7%)増、「保安職業従事者」が440人(6.7%)増などとなっている。一方、「運輸・通信従事者」が1,206人(8.1%)減、「農林漁業作業」が3,264人(6.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.5%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.4%、「販売・サービス関係職業」が24.8%、「農林漁業関係職業」が10.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.2ポイント、0.3ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.1ポイント、0.6ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.8時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.4時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業」が0.5時間増、「保安職業従事者」が0.4時間増となっている。一方、「販売従事者」及び「サービス職業従事者」が1.7時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が106,139組(夫婦数209,290組の50.7%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が53,818組(同25.7%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が13,897組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の13.1%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が11,449組(同10.8%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は76,343世帯(住宅に住む一般世帯282,226世帯の27.1%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は205,883世帯(同72.9%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が76,063世帯(同27.0%)、「女性のみ」の世帯が31,559世帯(同11.2%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が16,934世帯(同6.0%)となっている。

図1 佐賀県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

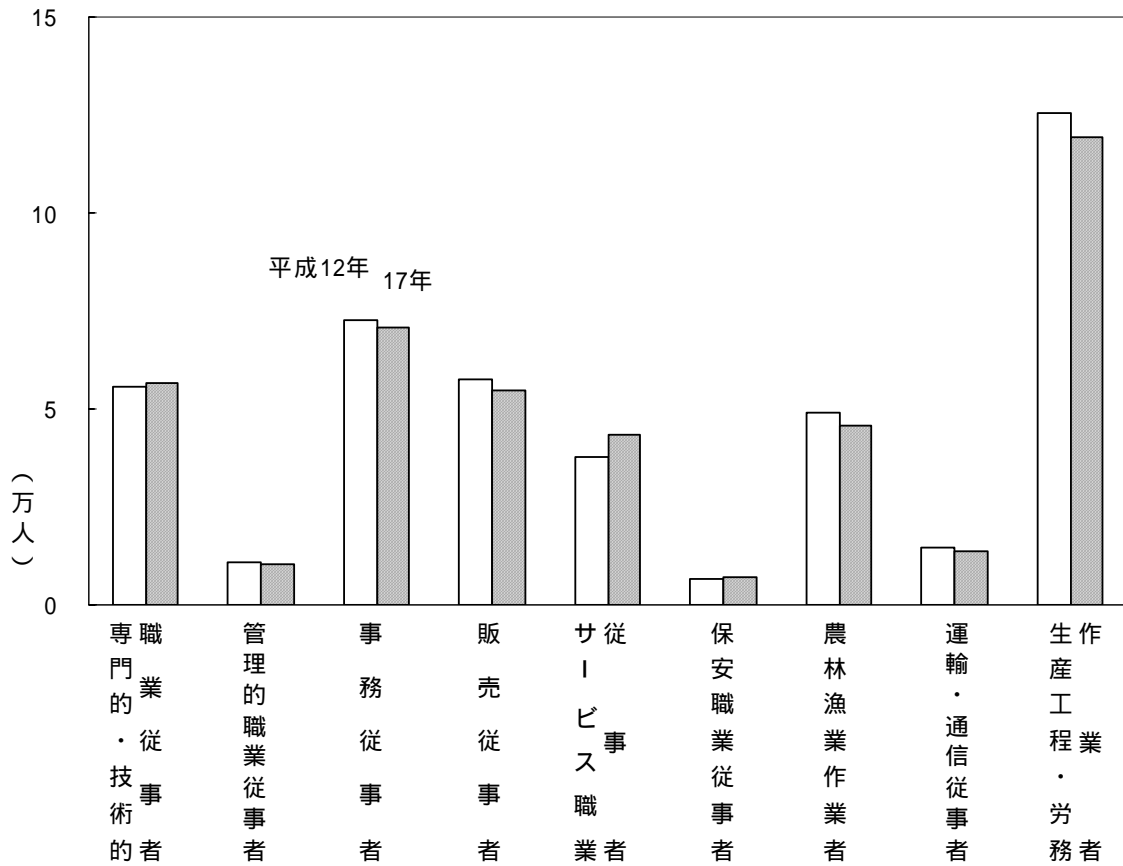


図2 佐賀県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

